

153系 直流急行型電車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張りすぎたりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取ります。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季2-21-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

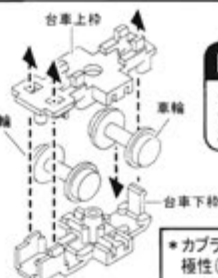
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所ツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

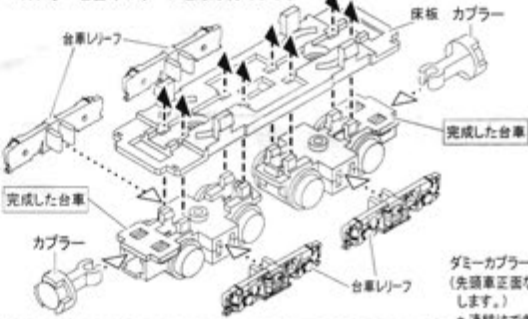


向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>

- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーと台車レリーフを取り付けます。



●カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。極性を組むときは、向きに気をつけてください。

台車レリーフの向きに注意。



ダミーカブラー
(先頭車正面などに使用
します。)

●連結はできません。

密着連結器
(JR電車ほか)

自動連結器
(各社気動車ほか)

ドローバー
(2両を固定連結する場
合に使用します。)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。



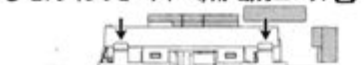
●床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けください。)

●EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いカブラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、種小カブラー、Sカブラーでは、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット②・電車・気動車用」を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「トレインショーティ専用・走行台車③」を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付けの場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体細いカーブのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- EF640、DF500、DD53など、車体細の低い車両には装着できません。
- 11-103は、購入時にカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

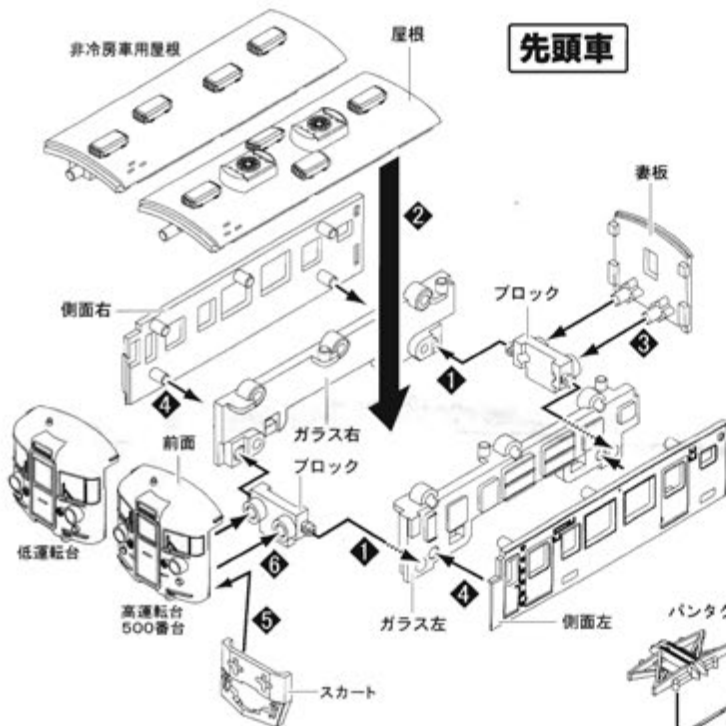
- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 チビ客用動力ユニット
- KATO製「チビ客用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車③: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車②: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
- このほか、別形取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直流/パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流/パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直流/下枠交差形パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流/パンタグラフ
- KATO: 11-404 11-420 PS16: 直流/パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流/パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ
- 11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



先頭車

車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)



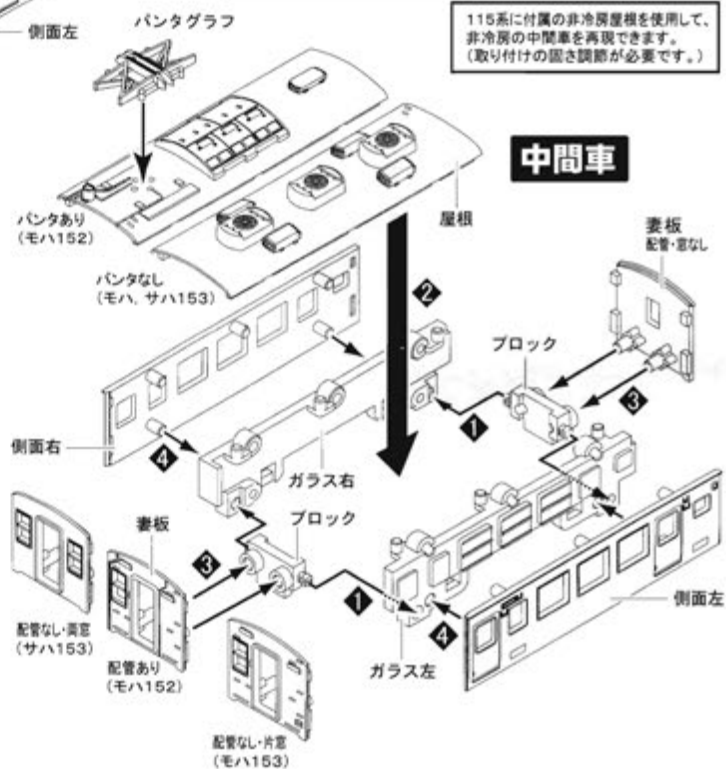
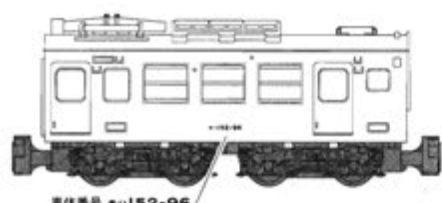
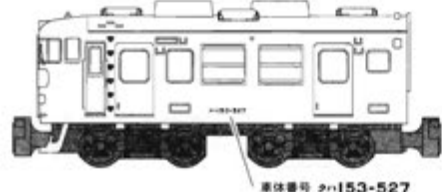
*取り付け部が圓い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、パリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

115系に付属の非冷房屋根を使用して、非冷房の中間車を再現できます。(取り付けの固さ調節が必要です。)

ステッカーの貼付け位置

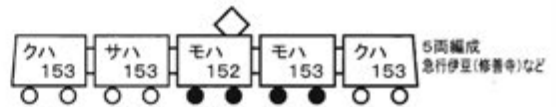
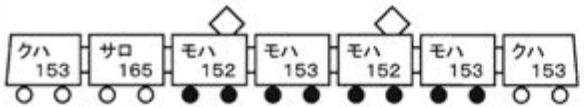
*貼り付け位置の参考例です。台紙から好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。(万物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)



中間車

実車の編成例

*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。



*増結5両は、東京寄りに連結。



*サロ152は後にサロ165に置き換え。

*サハ2両を抜いた10両編成・急行伊豆(下田編成)など

車体番号(低運転台)

番	1	2	番	1	2
10001	10002	10003	10004	10005	10006
10007	10008	10009	10010	10011	10012
10013	10014	10015	10016	10017	10018
10019	10020	10021	10022	10023	10024
10025	10026	10027	10028	10029	10030
10031	10032	10033	10034	10035	10036
10037	10038	10039	10040	10041	10042
10043	10044	10045	10046	10047	10048
10049	10050	10051	10052	10053	10054
10055	10056	10057	10058	10059	10060
10061	10062	10063	10064	10065	10066
10067	10068	10069	10070	10071	10072
10073	10074	10075	10076	10077	10078
10079	10080	10081	10082	10083	10084
10085	10086	10087	10088	10089	10090
10091	10092	10093	10094	10095	10096
10097	10098	10099	10100	10101	10102

車体番号(高運転台)

番	1	2	番	1	2
10103	10104	10105	10106	10107	10108
10109	10110	10111	10112	10113	10114
10115	10116	10117	10118	10119	10120
10121	10122	10123	10124	10125	10126
10127	10128	10129	10130	10131	10132
10133	10134	10135	10136	10137	10138
10139	10140	10141	10142	10143	10144
10145	10146	10147	10148	10149	10150
10151	10152	10153	10154	10155	10156
10157	10158	10159	10160	10161	10162
10163	10164	10165	10166	10167	10168
10169	10170	10171	10172	10173	10174
10175	10176	10177	10178	10179	10180
10181	10182	10183	10184	10185	10186
10187	10188	10189	10190	10191	10192
10193	10194	10195	10196	10197	10198
10199	10200	10201	10202	10203	10204
10205	10206	10207	10208	10209	10210
10211	10212	10213	10214	10215	10216
10217	10218	10219	10220	10221	10222
10223	10224	10225	10226	10227	10228
10229	10230	10231	10232	10233	10234
10235	10236	10237	10238	10239	10240
10241	10242	10243	10244	10245	10246
10247	10248	10249	10250	10251	10252
10253	10254	10255	10256	10257	10258
10259	10260	10261	10262	10263	10264
10265	10266	10267	10268	10269	10270
10271	10272	10273	10274	10275	10276
10277	10278	10279	10280	10281	10282
10283	10284	10285	10286	10287	10288
10289	10290	10291	10292	10293	10294
10295	10296	10297	10298	10299	10300

正面方向幕



グリーンマーク



ヘッドマーク



153系用